

	<h1>みずみどり</h1>	2006年11月15日 第57号
		発行：いたばし水と緑の会 事務局
		年会費 2,000 円 郵便振替 00170-8-352508 いたばし水と緑の会
		http://homepage3.nifty.com/mizutomidorinokai/
		E-mail : mizumidori@nifty.com
		〒174-0063 板橋区前野町 5-31-7 瀬田方 tel&fax3969-7124

街路樹について

退職後は健康維持の散歩と家事手伝いの買い物などで、家の近くを歩く事が多い。区内の道路は少し広い歩道には樹木が植栽されているので、沿道の街路樹や民家の草木が観賞できる。きれいな庭に人が居るときは、言葉をかけて花談義を楽しんだりすることもある。街路樹や街を眺めて日ごろ感じていることを書いてみた。

自然林の減ってしまった街で、街路樹の緑や花は人々に潤いを与えてくれ、夏の暑い日ざしからも守ってくれる。また、大気中の二酸化炭素を減らし酸素を供給する役もしている。



赤塚公園通り（高島平1丁目）のモミジバフウ

手入れをされて整った並木は街のシンボルにもなり、例えばケヤキといえば明治神宮参道や仙台が、イチョウでは神宮絵画館通り、ヤナギは銀座、そしてスギと言えば日光や箱根の旧街道に想いが至る。区内でも先に言及したことのある神社参道に、古木のケヤキ並木がある。高島平の2・3丁目間の道路に植栽されている並木は、仙台の並木よりも元気に育っていると思われる(仙台では汚れた幹を洗っていると聞いている)。きれいな街路樹は街の風格を上げてくれるが、荒れ放題の街路樹を見ると住民の品性を疑いたくもなる。

ある地方の街では実のなる木を植えている由だが、年間を通しての手入れや、果実の収穫などの協同作業で楽しさや辛さを体感し、協調性や責任感を育むとともに親睦を深めるなど、子ども達の徳育にも役立つのではなからうか。

街路樹には並木と呼ばれる高木と垣根的な低木があるが、高木は車や人の通行の支障にならないように、下枝の高さや長さを歩道の幅に応じて管理(定期的な剪定)しなければならない。また、台風など強風での倒木を防ぐために、風圧を受けやすい樹木では適時の剪定が欠かせない。通常の剪定作業は生長の止まった秋から冬に行なわれるが、落葉樹の落ち葉を嫌がる地域住民の要望や、イチョウなど油脂成分が多くて落葉で車がスリップ障害を防止する目的、そして作業の平準化(推測)などから、秋の初めから剪定を行い、イチョウやモミジバフウなどで、葉の付いた今年伸びた枝を、殆ど残らず切り落としているのを見かける。折角の紅(黄)葉の観賞の機会を奪われる思いがして誠に残念に思うことがある。



諏訪神社前の
ユリノキ(剪定後)

狭い歩道では枝を広げるサクラなどは、宅配トラックなど背の高い車に枝を痛めつけられているのをよく見かける。また、サクラなどは太い根が浅く伸びて歩道面を凸凹にするので、歩道の管理も欠かせない。庭木のマキを植えた横通りがあるが、周りの街に合っていないように思うが、徒長しないので管理は楽な並木かも知れない。



横通り徳丸7丁目

樹種によっては環境に影響されやすいものがあり、以前三園地区にナナカマドが植えられたが育たなかったようだ。気温やの低い土地に適した樹種と言える。アメリカハナミズキは花と実と紅葉が楽しめる木だが、狭い歩道では育ちが悪いように思われる。枝も横に張り花をつけるので、広い処で豊

かに茂った樹形を觀賞したい木といえよう。ハクウンボクやサルスベリは、排気ガスの多いところで育ちが悪かったのを覚えているが、シマサルスベリは少し丈夫のようである。イチヨウはどんなところでも比較的よく育ち、その黄葉もすてきだが前記のように葉に樹脂が多く、乾燥し難くて踏むと滑るなどの問題があり、坂道などは避けたほうがよさそうだ。また、最近管理がよく実（銀杏）は少なくなった（拾う人も増えた？）ようだが、たくさん生らせると路上が汚れ迷惑なこともある。

低木はツツジ、サツキの類が多いが、きれいに刈り込まれたものは景観もよいが、剪定時期によっては花が咲かないので、出きれば花を眺められるようにして欲しい。ツツジ類は根が張らず枝は折れやすいので、日照りで枯れ易く跨ぎ歩く人によって根こそぎ（背丈の低いサツキなど）にされ、商店の前などは客の自転車により踏み潰されて無残に消えてしまったのをよく見る。通行人のマナーにもよるが、植栽する樹種も検討を要するほか、いっそのこと、このような場所はサツキなどの植え込みは止めて、高木だけにして舗装してしまう方が、見た目も管理費面からもよいように思う。高速5号線沿い（赤塚公園）のツツジは、ドライバーが掻き分けて通り抜けるため、枝がへし折られて出来た小道がたくさん出来ている上、投げ込まれるごみの多さにあきれている。

また、歩道の樹木敷きを個人の園芸に使っている処も多く、手入れがよければまだしも、見苦しい状態には目をそらしたくなる。商店が公道まで店を広げたり、狭い歩道を駐輪場にして通行を妨げていたり、それに、エアコンの室外機の風を吹き付けられるのも、歩いていて不愉快なことである。

以上、個人的な感想を並べ立てたが、街路樹に関心を持つ人が増えて、街で素敵で草花が眺められるようになることを願っている。（猪鼻昭二）

見てみよう ガガイモの種

12月に入ったら赤塚城址に登ってみてください。バッタ広場の木に枯れたガガイモのツルが絡まっています。ガガイモはありふれたツル性の雑草で、夏に小さな地味な花をつけます。秋にはちょうど野菜のオクラを一回り大きくして太らせたような緑色の実ができ、冬になると、この実が割れて種が出てきます。この種には細い絹糸のようなきらきらした長い毛（種髪という）がついていてきれいなのです。冬のお天気のよい日、ガガイモの種は新しい土地で、新しい命を育むために風に乗って飛び立っていきます。ちょうど宮澤賢治の童話「おきなくさ」の旅立ちのようです。ガガイモは草刈りされる場所では、なかなか実を見ることができません。冬の晴れた日、一度バッタ広場のガガイモを見てください。きっとガガイモが好きになると思いますよ。



赤塚城址周辺クリーン作戦「ゴミをなぜ捨てる」

日時:11月25日(土)10時~11時30分

集合場所:美術館前

持ち物:軍手 あればゴミばさみ、林の中にも入ります。汚れてもよい服装で。

雨の時:延期します。

連絡先:いたばし水と緑の会事務局

瀬田(3969)7124

小豆沢・志村・大原町・前野町の 樹林地と湧水の見学会から

身近な自然ネットでは、村上和生さんの案内で雑木林見学会を1月からほぼ毎月実施し、あと1回で区内の樹林地をひと通り見ることとなります。10月23日は、私の住んでいる小豆沢・志村・前野町・大原町の雑木林の見学でした。この地域の崖下には湧水が多いところ です。以下は見学会の報告と感想です。

小豆沢の斜面林と湧き水

志村坂上駅に集合して、まず立ち寄ったのが薬師の泉。裏山に囲まれて俗世間が見えないので、中山道に接しているとも思えない落ち着いた日本庭園で、湧水もある。ススキの穂、ホトトギスやミズヒキ、酔芙蓉の赤と白の花があった。酔芙蓉は、開いたときは白いが、しばむと酔ったように赤くなるため酔芙蓉というのだそうだ。薬師の泉の樹林は都営住宅の敷地にある樹林とつながっているが、住宅局の樹林は立ち入り禁止になっている。同じ公共施設でも東京都住宅局と板橋区のみどりと公園課で管轄が違うが、樹林地はこれからも一体として維持されると思われる。

小豆沢公園は体育館通りを挟んで、3丁目と4丁目に分かれているが、小豆沢グラウンド下の3丁目側は道路際にスタジイが多く、実（食べられる）もたくさん落ちていた。

小豆沢神社の下に当たる4丁目側は斜面林だけの公園だが、上下をつなぐ道が少なく、そのかわりに、御手洗不動尊から道路と平行した（上り下りのほとんどない）東に行く細い静かな山道があり、私は気に入っている。斜面林に登り道をつけると、登り道の傍から林床が傷む。あちこちの斜面林のある公園で木の根や階段が浮き上がり荒れているのをよく見るが、小豆沢4丁目の斜面林にはそういう加工がされていないため、下草も茂っていてわりあいよい状態に保たれているように思う。

小豆沢の崖下一帯は、湧き水が多い。薬師の泉もわずかながら湧水が出ている。小豆沢グラウンドの下にある小豆沢公園（小豆沢3丁目側）も池や階段など数カ所から湧き水が出ている。崖を切り取って数年前に出来た墓苑前の道路には、コンクリートによっても封じ込めきれなかった湧き水が出ている。隣のコンクリートの建物の横からも湧き水がしみ出ている。

体育館通りを横切った先の小豆沢公園（4丁目）の崖下も湧き水が出ている。4丁目のお

もな湧水は御手洗不動尊の池の水（なぜか湧水量は少なかった）だが、北区境までずっと崖下が湿っている。崖下がじゅくじゅくしていたり、道路際が濡れたりしているの、湧き水がしみ出ていることがわかる。田中正安さんが計器を持ってきて、湧水の水量・水温・水質を次々と計測した。

自然樹林になっているのは小豆沢公園まで、そこから東の斜面はマンションの敷地で、樹林が一部残されているがコンクリートのよう壁になっている。小豆沢公園の自然崖線は大切にしてほしいと思う。

公園が終わったところからV字型に西に戻る緑のトンネル（小豆沢4-15、特定樹林地になっている）を通して、龍福寺の立派なお庭と有名な板碑を見学、小豆沢神社境内のスダジイとカヤの大木を見て、次へ向かった。



小豆沢4-15 樹林地（右）と公園の間の緑のトンネル

大原町と前野町

金門製作所、大内新興の工場跡地がそれぞれ大型マンションに変わり、またスーパー銭湯が出来た。樹林地は大原町に1カ所、前野町の日暮台公園の隣に1カ所特定樹林地が残されているが、前野町にあった特定樹林地5地点が消失。とくに日暮台公園の隣にあった樹林地が伐採されたのは最近で、むき出しの赤土を整地している最中であつた。ここは平成14年、私が案内して島井先生のフィールドワークで来たときには、確かに雑木林があつたところ。



前野町5-23 またもや伐採され消失した樹林地

熊野神社とタブノキ

コパルの工場（工場にしては緑が多いところだつた）があつたときは、入り口から上り坂に植えられたサクラがきれい、花見に来たと言う人もいたが、マンションに変わり桜のあつた斜面もだいが削られてしまった。隣の熊野神社の裏山は、今も変わらずにうっそうとした森になっている。熊野神社には「板橋区の保存樹林第1号（昭和40年に指定）」という表示

がある。この裏の緑の散歩道は、わざわざ途中下車して度々歩いたところである。

熊野神社の裏に大きなタブノキがあり、保存樹木になっている。周辺に実生がたくさんあり、一帯は1 m位から高木まで大小のタブノキが多い。釣巻さんに見てもらったら、100年後にはタブノキの森になると言う。タブノキは城山公園と周辺や、少し離れた小豆沢公園(4丁目)にもある。もともと海岸や暖かい地方に多い常緑の高木で、熊野神社の崖下は縄文時代には海だったところ。タブノキは、縄文時代からずっとここに住み続けていたのでしょうか。だとしたら、タブノキはえらいと感心してしまう。



志村の湧水

熊野神社の北側、志村3丁目駅近くにある志村城山公園には、急な樹林地の下から湧き水が出ている。城山公園に続く崖下には湧き水が多い。志村2-24の駐車場にあふれ出ている湧き水を見せていただく。確か板橋区で一番水量の多い湧水地である。その近くに、道路に流れ出している湧き水のあるお宅に行ったら、なんと更地になっていた。この水量は、小さいスポットだが、湧き水を生かした公園にしてほしい、と一同思ったことでした



湧き水出していた住宅がなくなって更地に。正面のパイプから出ているのは水道ではなく湧水

(坂本 郁子)

赤塚トンボ池の観察ノートから

10月14日 ヤマガラが一羽、「ニーニーニー」と、喫茶店横の階段を登りつめたところの鉄柵の上に地面から飛んでなく。このあたりで見るのは本当に珍しく、夫婦でメモとして残したいと記録。

事務局より：見つけた自然や気がついたことなど、お知らせ下さい。

活動のお知らせ

運営委員会は毎月第1金曜日です。どなたでも参加できます。

12月運営委員会： 12月1日(金) 18:30~20:30

1月運営委員会： 1月5日(金) 18:30~20:30

いずれもエコポリスセンター環境学習室です。

会報の印刷・発送は奇数月。お手伝いできる方はよろしく

日時：1月16日(火) 18:00~ 場所：エコポリスセンター

変更する場合もあるので、事務局にお問い合わせ下さい。

活動の問い合わせは瀬田まで(3969-7124)

会では赤塚や徳丸が原公園で私たちが作った自然の場所を中心に自然の変化を観察しています。またゴミ拾いや、ビオトープの改善等必要な修理等を行っています。観察会は原則として雨天も実施します。

11月の活動 城址周辺クリーン作戦

日時：11月25日(土) 10:00~11:30

集合場所：美術館前

持ち物：軍手、あればゴミばさみ、林の中にも入ります。汚れてもよい服装で

雨の時：延期します。

1月の活動 城址観察会「ミノムシをさがそう」

日時：1月20日(土) 10:00~12:00

集合場所：赤塚トンボ池前(板橋美術館そば)

生き物のすめる環境整備

日時：12月16日(土) 10:00~12:00

集合場所：赤塚トンボ池

雨天の場合:中止(あやしいときは、坂本(090-4618-1295)まで)

身近な自然ネット主催 雑木林見学会

日時：11月18日(土) 10:00~12:00

集合場所：志村3丁目改札口

見学先：中台、サンシティの樹林地

詳細は瀬田まで(3969-7124)